

埼玉県立入間向陽高等学校 部活動に係る活動方針

令和3年4月1日

★入間向陽高校の教育理念～部活動の位置づけ～

『ひたむきに、おおらかに、たくましく』という校訓の下、学習・部活動・学校行事のいずれにも燃える生徒の育成を目指しています。どれかひとつに偏ることなく、それぞれを通して人格の完成に努めています。

その中で、部活動は、生涯にわたって豊かな生活を実現する資質・能力を育むとともに、好ましい人間関係を構築し、充実した高校生活を実現する絶好の機会です。生徒たちは、落ち着いた環境の中で、様々な体験を通して、これからの時代に必要な力を身に付けていきます。

★指導上の基本方針

- 体罰・いじめ・ハラスメント防止、救急救命並びに雷雨や熱中症への対応等について、情報共有、研修を通して、職員の危機管理意識と対応力の向上に努めます。
- 保護者の理解と協力の下、生徒の健康面等に十分配慮し、合理的でかつ効率的・効果的な活動計画の立案、環境整備を行います。
- 顧問の複数配置など、学校全体としての適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図ります。
- 部費等の活動費用の徴収にあたっては、保護者の理解を得るとともに、会計報告を行うなど適正な処理を行います。
- 活動計画は、下記の原則を踏まえて作成します。
 - ①学期中は、週2日以上（平日1日以上かつ土日いずれか1日以上）の休養日を設ける。
 - ②1日の活動時間は、平日は2時間程度、休業日は3時間程度とする。
 - ③生徒の健康保持及び学業保障と職員の健康保持等のため、定期考査1週間前及び定期考査期間中の部活動は原則休止とする。
 - ④長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じるとともに、まとまった休養日の設定に努める。
 - ⑤種目・分野の特性や試合・コンクール等の時期により、①～④によることができない場合は、月間・年間を通して、その趣旨を生かす計画を立案する。
- その他の留意事項
 - ・部活動の種目等の特性により、練習形態や活動条件は各部によって異なります。また、各部が所属する関係団体との調整及び諸条件整備のための移行期間が必要なため、当分の間は、原則によらない場合もあります。
 - ・本方針（「埼玉県立入間向陽高等学校 部活動に係る活動方針」）は、すべての保護者に公開します。
 - ・各部は、本方針を踏まえ、月間・年間の活動計画及び実績を作成、記録します。